

中運整車 第1529号

平成 6年 9月13日

東急車輛製造株式会社 殿

中部運輸局



改造自動車等審査結果通知書

- 指示事項: 1. 本試作は製造番号 TL252A-126-<sup>S1226</sup>/<sub>S1227</sub> の 2 台限りとする。  
 2. 幅・車両総重量 } については「道路運送車両の保安基準」の緩和を受けること。  
 軸重・隣接軸重 }  
 3. けん引車については次により検討した  
 車名 三菱 型式 W-FV414JR (第5輪荷重 18t) NR付

主要諸元比較表 (改造、<sup>試作</sup>、組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社			種別用途		普通貨物		
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準		
車両重量 kg		2040	—	車名		原急	—		
乗車定員人		—	—	型式		TL252A-126	—		
最大積載量 kg		25000	—	形 状		セミトレー	—		
車両総重量 kg		32040	≤ 30t (24)	原動機の型式		—	—		
長さ m		8.820 (8.920)	(≤ 12)	燃料の種類		第5輪から	—		
幅 m		2.990	≤ 2.5	軸 距 m		8.000/7.200 + 7.220	—		
高さ m		1.680	≤ 3.8	最小回転半径 m		※ 8.9	≤ 12		
室内又は荷台の寸法 m	長さ	5.120	—	オーバハングボデー後端まで		1.750	≤ 4 (※ 3.610)		
	幅	2.990	—	荷台オフセット m		1.585	—		
空車時	前	1.820	—	タイヤ	前	—	—		
荷重分布	後	3.610	—	サイズ	後	235/70R17.5 91/225J	—		
		3.610	—			235/70R17.5 91/225J	—		
積車時	前	2805	≤ 10t ( )	積車時	前	—	—		
荷重分布	後	—	—	タイヤ	後	—	—		
kg		13120	≤ 10t (18t)	荷重割合 %	後	88.6	≤ 100		
		13115	—			88.6	—		
積載時	前輪	—	≥ 18	最大安定	左	※	—		
荷重割合 %		—	20	傾斜角度 °	右	54	一般 ≥ 30 (30)		
		—	—			54	—		
輪 距 m	前	—	—			—	—		
	後	2.830	—			—	—		
		2.830	—			—	—		
能力強度等検討	制 動 能 力	踏力 — kg/35 km/h 2.2 m		車わく強度	g <sub>0</sub> /g = 2.00 / 1.825 = 1.10 > 1.6				
		空気圧 7 kg/cm <sup>2</sup>		車軸強度	" = 2.700 / 5.6725 = 0.47 "				
	推 進 軸	回 転 数 Nc/N = / =		操縦装置	" = / = "				
	強 度	σ <sub>b</sub> /τ = / =		懸架装置	" = 2000 / 10222.5 = 0.2 "				
				制動装置	" = 2500 / 1276 = 3.5 "				
				連結装置	東急 TL2555 型トレー				

注1. 主要諸元比較表右肩( )内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。  
 注2. 能力強度等検討欄に必要なしなものは一、省略したものは×を記入すること。

注: ※印は W-FV414JR 型トラクターと連結時の計算値を示す

試作  
改造概要説明書

目的	当該車両は分割不可能な重量物の安全輸送を計る為新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 6020 + 1200 = 7220mm とした
輪距	2430mm とした
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面にトラニオンブラケットを取付けそれにトラニオン軸を通しその軸を中心にして上下に揺動するウォキングビームを取付け、その両端に取付けられた車軸にテーパローラベアリングをはめ合せて車輪のホイールを支える。
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 気圧・内部拡張式ブレーキシューアンカーピン形式(駐車ブレーキ) フレームの側レールに取付けられた、ノブを押すと、スプリングブレーキが作動する。牽引車と分離した時、制動のかゝる非常中継弁を取付けている。
懸架装置	ウォキングビーム方式 トラニオン軸を中心にして前後に揺動し、ウォキングビームのスピンドルを中心にして左右に揺動する構造である。
連結装置	東急 TL2555 型セミトレーラ(8番第18号新型自動車第10999号)と同一のものを使用している。 JIS-D-6602に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	

(A列3番)

(社団法人 日本自動車車体工業会)

Y43622